MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2020/05/27 号（As of 2020/05/26）

市場営業部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.77 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.69	1.0902	117.43	1.2198	0.6550
SYD-NY High	107.92	1.0996	118.32	1.2363	0.6675
SYD-NY Low	107.41	1.0893	117.36	1.2188	0.6539
NY 5:00 PM	107.58	1.0983	118.12	1.2338	0.6656

NY DOW	24,995.11	529.95	日本2年債	-0.160	1.00bp
NASDAQ	9,340.22	15.63	日本10年債	0.000	0.00bp
S&P	2,991.77	36.32	米国2年債	0.17	0.41bp
日経平均	21,271.17	529.52	米国5年債	0.35	1.28bp
TOPIX	1,534.73	32.53	米国10年債	0.69	3.75bp
ｼｶｺﾞ日経先物	21,290.00	725.00	独10年債	-0.4310	6.50bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	6,067.76	74.48	英10年債	0.2120	4.00bp
DAX	11,504.65	113.37	豪10年債	0.8770	1.00bp
ﾊﾝｾﾝ指数	23,384.66	432.42	USDJPY 1M Vol	5.43	▲0.38%
上海総合	2,846.55	28.58	USDJPY 3M Vol	6.08	▲0.25%
NY金	1,705.60	▲ 29.90	USDJPY 6M Vol	6.89	▲0.19%
WTI	34.35	1.10	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	131.62	2.09	EURJPY 3M Vol	7.59	▲0.34%
ドルインデックス	99.01	▲ 0.85	EURJPY 6M Vol	8.40	▲0.20%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は107.69ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ｱｼﾞｱ株高を背景に、海外勢の買いで小幅上昇したが、米英休場明けとあって値動きは限定的。節目の108円前後は売りも厚く、107.92を付けた後は足踏み状態を余議なくされており、結局107.88ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、107.88ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。欧州株価指数の強含みを背景としたﾄﾞﾙ売りが先行し、107.47まで下値を切り下げて、107.45ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.2245ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方に一部の報道機関から、英国にとって重要な交渉の焦点である漁業権を巡り、EU側が一段と歩み寄る可能性が高いとのﾆｭｰｽが流れると、来週に予定されている離脱後の通商関係の交渉が打ち切られる懸念が和らぎ、ﾎﾟﾝﾄﾞ買いが優勢となった。全般的なﾄﾞﾙ売りと重なり、一本調子で1.2343まで上値を伸ばし、1.2338ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 ﾏｸﾙﾋﾙ)

ニューヨーク

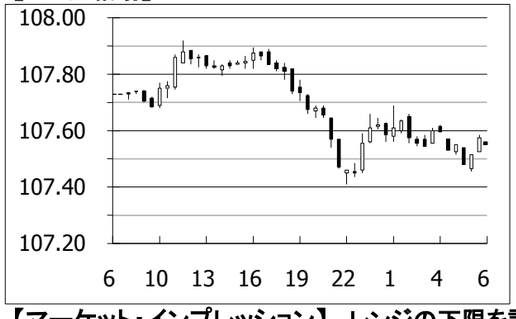
ﾄﾞﾙ円は107.45ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ107.41まで下落するが、株式市場が大幅高で寄り付く展開に円売りが強まり、ﾄﾞﾙ円は107.66までｻﾎﾟｰﾄされる。10時に発表された米4月新築住宅販売件数は、大幅減少予想に対し、大幅値引きを背景に前月から小幅改善したが、雇用の悪化を受け住宅購入意欲は今後も低調になることが予想されることや、同時に発表された5月消費者信頼感指数が予想を下回り、前回分も下方修正されたことから、強弱混在の結果にﾄﾞﾙ円の反応は限定的となった。その後107.69まで上昇する局面もあったものの、ﾕｰﾛﾄﾞﾙの上昇にﾄﾞﾙ円は上値を抑えられる。しかし終盤に掛けてﾄﾗﾝﾌﾟ政権が香港問題で中国当局者や企業への制裁検討との関係筋の話が伝わるとﾄﾞﾙ買いが優勢となり、107.58ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、ﾘｽｸ志向の動きからﾄﾞﾙ売りが強まる中、先日独憲法裁判所がECBの量的緩和策が一部違憲との判断を示したことから、その緊急時対応策としてECBが独連銀なしで公的部門買い入れﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(PSPP)を継続する策を検討中とのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝにﾕｰﾛ買いが強まり、一時1.0980まで戻し、1.0979ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は利益確定売りにやや下押しする局面もあったものの、その後もﾄﾞﾙ売りが強まり1.0991まで戻す。午後に入っても堅調な米株の動きにﾄﾞﾙ売りが継続し、加えて明日欧州委員会で復興基金の最終案が提示される予定になっていることから、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.0996まで戻し、終盤は前述の中国への制裁懸念からﾄﾞﾙが買い戻される展開に、1.0983ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。(NY井上)

【昨日の指標等】

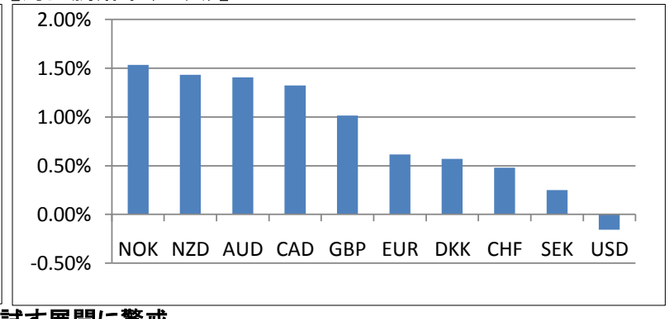
Date	Time		Event		結果	予想
5月26日	15:00	独	GfK消費者信頼感	6月	-18.9	-18.0
	21:30	米	ｼｶｺﾞ連銀全米活動指数	4月	-16.74	-3.5
	23:00	米	新築住宅販売件数	4月	623k	480k
	23:00	米	ｺﾝﾌｧﾚﾝｽﾎﾞｰﾄﾞ消費者信頼感	5月	86.6	87

Date	Time		Event		予想	前回
5月27日	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	-	-2.6%
	23:00	米	ﾘｯﾁﾓﾝﾄﾞ連銀製造業指数	5月	-40	-53

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【マーケット・インプレッション】 レンジの下限を試す展開に警戒

4月以降106円～108円の狭いレンジを推移しているドル円にとって、足元の水準はレンジのほぼ上限であり、今後1～2カ月の間に106円付近まで下落する展開を予想する。

理由の一つは、新型コロナウィルス感染の戦場が先進国から新興国へとシフトしている点である。先進国でのロックダウンが段階的に解除され、景気回復への期待感が高まったことで、市場のセンチメントは一旦、改善を見せている。しかし、ブラジルやメキシコなどの中南米やインドなど、新興国においては現在進行形で感染が拡大している。そのペースやロックダウンに伴う経済へのダメージは予想以上となっており、各中銀・政府は金融緩和や財政政策を駆使し、影響を軽減しようとしている。しかし、衛生管理や医療体制が盤石とは言えない環境下での感染終息には、先進国以上に時間を要し、その影響が深刻化する懸念は払拭できない。また、ドイツや韓国で発生したような二次感染への懸念も燻る。期待されるワクチン開発については、初期段階での一進一退を繰り返しており、有効性の確認・臨床試験をクリアしなければならないことや開発の中止リスクもあり、楽観視できる状況ではない。新興国を跨ったサプライチェーンの回復が遅れることで、その影響が世界経済へと波及する新興国発のリスクオフ相場に警戒が必要であろう。

そして二つ目は、米中リスクである。ウィルス感染拡大の責任問題や香港を巡る問題をきっかけに急速に二国間の関係が悪化している。米国は、対中禁輸対象の拡大や中国企業の上場廃止をもたらす法案を可決するなどの強硬姿勢を見せており、中国側もそれらに対し強く反発。コロナウィルス以前に市場を覆っていた米中リスクという不透明感が再び台頭しつつある。これら二つの大きなリスクを前にドル円は次第に軟化していくと考える。（逸見）

■今週のドル/円　見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：逸見・大庭 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに